



二〇二四年
四月号

エルダーサロン



新事務局長 山口 正巳
四月一日付で事務局長という重責を仰せつかりました。

りましたが、その間社会環境が大きく変化しました。とくに定年の延長に伴いシルバーに入会する方が減少していること、在籍会員の高齢化に伴い退会者が増えていることから、会員数は千人を超えた平成二十二年度をピークに右肩下がりが続き、現在七〇〇人を割ってしまっている深刻な状況であります。

まず私の取り組むことは、いかにしても一人でも多くの新規入会者確保と一人でも多くの退会者の抑制に全力を注ぐことです。「シルバーに入って良かった。シルバーにいたい」という魅力あるセンターでなければなりません。

また、「何か困ったらシルバーに相談しよう」と地域に頼られる組織でなければならぬと切に思います。

この課題を解決するには、会員の皆様はもとより役員、職員の皆様とともに一丸となって考えていかねばなりません。何とぞ多大なるご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



働く仲間

発行所 公益社団法人 犬山市シルバー人材センター
所在地 愛知県犬山市松本町二丁目7番地

TEL (0568)62-8505
FAX (0568)62-5819
e-mail: inuyama@sjc.ne.jp
https://www.sjc.ne.jp/inuyama/



令和六年度事業計画

当センターの令和六年度事業計画が次のとおり決まりました。

I 基本方針

我が国の総人口は毎年連続で減少する一方、総人口に占める六十五歳以上の割合（高齢化率）は二九・一％と過去最高で世界トップとなつていきます。

このような人口減少、超高齢社会の中で、今後も活力ある地域社会を維持向上させていくためには、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が、年齢に関係なく社会の担い手として活躍し続けることができる生涯現役社会を実現することが、強く求められています。

こうした中、元気な高齢者が地域社会の担い手となって活躍するシルバー人材センターが果たすべき社会的役割はますます重要となつており、将来にわたり誠意と責任をもつて事業を行い、活力ある地域社会の発展に寄与

することができるようにするためには、センターの基盤を一層強化する必要があります。

定年の延長など雇用環境の変化に加え、年金支給開始年齢の引き上げ等の影響もあり、高齢者の就業ニーズが多様化しており、会員数の減少傾向が続いています。会員数の確保は、組織の基盤であり安定した事業運営の根幹ですので、まずは減少傾向に歯止めをかけ、コロナ禍前の水準まで回復させることを目指していきます。

そのためには、センターのイメージアップ、働きやすい環境づくり、魅力ある仕事の開拓などの諸課題について、会員、役員、職員が解決に向けて力を合わせて果敢に取り組んでいかなければなりません。

センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員相互の親睦と信頼、連帯感を醸成しながら、地域から頼りにされ貢献ができる魅力あるセンターとなるよう事業を進めていきます。

II 実施計画

1 公益社団法人としての健全な運営

定款に則して公益目的事業を推進し、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与できるよう公益社団法人に相応しい健全な運営に努めます。

2 活力と魅力あるセンターを目指して

- (1) 会員、役員、事務局が一丸となって粘り強く会員の確保を目指します。
- (2) 多様な会員の就業ニーズ及び市民ニーズに応じた就業機会の確保・拡大に努めます。
- (3) 安全就業の周知徹底を図るなど事故ゼロを目指した取り組みを強化するとともに、適正な就業形態の推進を図ります。
- (4) 既存事業の見直し、新たな事業の調査研究を進めるなど、独自事業を着実に推進して、センターの活性化につなげていきます。
- (5) センターの将来に向けた安定的な運営と事業拡大のために、会員組織の強化と事務局体制の整備、財政運営の健全化を進めます。

〈お客様の声〉

トマト「おいしい花子」を買い求めたお客様から嬉しい声が多数届いています

料亭
冬の寒風が身に染みる時期となりました。
突然のお手紙、失礼致します。
先日家族で遊びに行った犬山の城下町で「おいしい」を買いました。あまりのおいしさに感動し、気持ちをお伝えしようと、今、筆をとっています。6才の男の子が「おいしい」が大好きで、あらゆる品種のトマトを食べています。2人とも「今までの一番おいしい!!!」と驚いていました。「早く作られていたんだなあ」と感じました。次に行く時は、多めに買い求めようと思つています。おいしいトマトを作って届けて頂いてありがとうございます。寒いのとどうもお身体に気を付けて下さいね。お返事はしません。

『先日、家族で遊びに行った犬山の城下町で「おいしい花子」を買いました。あまりのおいしさに感動し、気持ちをお伝えしようとして、今、筆をとっています。6才、9才の男の子がいるのですが、二人ともトマトが大好きで、あらゆる品種のトマトを食べていますが、二人とも「今までで一

番おいしい!!」と驚いていました。丁寧に作られているんだなあと感じました。次に行く時は多めに買い求めようと思つています。おいしいトマトを作つて届けていただいております。寒いので、どうぞお身体に気を付けてください。応援しています。』



Amazing tomato

アイメック農法（フィルム農法）で育てたちょっと贅沢なミディトマト。
 たくさんの糖分やアミノ酸を蓄えています。

“おいしい花子”は犬山市シルバー人材センターの会員が
 「安全でおいしいトマトを届けたい」という思いを込め
 愛情たっぷり注いで育てています。

トマトが真っ赤に
 育った時が一番
 嬉しいです

愛情込めて
 トマトを育てて
 います



でも情報発信中！

選別時、キズ・ワレ・色合い・
 形・大きさに注意しています

〈育成〉



トマトの
 採れ高が
 良いと
 嬉しい

トマトの
 成長の速さに
 驚きます



配達を喜んで
 貰えると
 嬉しいです

安定して収穫できることが
 嬉しいです

〈摘み取り・パック詰め・配送〉



皆さんとの
 交流も
 楽しいです

〈試食販売〉



〈シルバー城下町プラザ販売メンバー〉

【 おいしい花子 販売店 】

- ◆シルバー人材センター（事務局窓口）
- ◆シルバー城下町プラザ
- ◆シルバーショップワン丸朝市◆三河屋犬山店
- ◆コープあいち小牧センター◆イオン県内店舗
- ◆ココトモファーム梅坪店・フロイデ店◆愛北市場
- ◆ヨシツヤ犬山店・可児店・師勝店・西春店
- ◆JA 愛知北本店・扶桑産直センター◆可茂中央市場
- ◆イワタケキャスタ店◆清水屋春日井店
- ◆犬山特産品館◆MEGAドン・キホーテUNY大口店
- ◆湯の華アイランド◆個人（通販）・個人飲食店
- ◆ふるさと納税返礼品 他

会員の広場



ダイヤモンド婚を迎えて

羽黒 武藤 照夫

八十才で退職し、シルバー会員になり、南
部高齢者活動センターの作業所で七年、前向
きに進んでいます。

現役時代は会社
人間で、家事一切、
子どもの躰等、全
て妻任せでした。
お互い高齢になり、
動作も緩慢になり、



今は妻は怪我で車椅子生活ですが、近所のご
夫婦の助けを借りて、全快を目指して協力し、
前向きな生活を目指しています。

苦楽を乗り越えてくれた妻に感謝し、無事
「ダイヤモンド婚」を

迎えることができました。
昨年九月、犬山市
から記念品をありがた
くいただきました。結
婚して六十年、戦後の
生活の貧しい時代に懸
念に働いて二人を丈夫
に育ててくれた亡き父
母の写真に手を合わせ
「ありがとう」の言葉
を掛け、健康を維持し

充実した生活を送れるようシルバーの仕事に
精を出しております。

今、思うこと

上野 佐藤 吉弘

六十四歳の定年を迎え、これでのんびりと
できるなと思いました。一か月ほどした頃
は毎日が退屈でどうしようもなくなつた時、
近所の方がシルバー人材センターで働いて
たことを思い出し、すぐセンターへ連絡を取
つたところ、都合よくカート回収の仕事があ
るとのこと。すぐにOKし働くこととなりま
した。現役時代は主にデスクワークでしたの
で、体を使うカート回収には興味を感じまし
た。その後、他店舗でのカート回収を経て、
今は剪定・除草作業後の残材の回収をしてい
ます。

あつという間に十二年が過ぎてしまいました
。結果、現役時代は七十キロあつた体重が
今は六十キロを切るまでになり、体調もすこ
ぶる良好です。また
仕事を通じ友人もで
き、毎日楽しく張り
のある生活をしてお
ります。シルバー人
材センターには感謝
感謝です。いつまで
働くことができるか



分かりませんが、今後も自分の体をやさしく
苛めていこうと思っております。

ふるさとの良さ再発見

五郎丸 川崎 三男

シルバー会員となり六年近くになります。
今は市の施設で週二日仕事をしています。職
場の皆さんと楽
しく仕事ができ、
社会に関わりを
もてることで、
日々の生活に張
りができ健康に
過ごせているこ
とに感謝です。



メタセコイア並木道

私の実家は滋賀県で、犬山に住むようにな
つて五十年近くになります。現役の仕事を離
れてからは、地元に残った友人から連絡をも
らつて、琵琶湖周辺の桜や紅葉の名所、渡り
鳥の飛来、神社仏閣、道の駅などに、帰省を
兼ねて出かけています。
最近では、琵琶湖の西北部の高島市に行き、
メタセコイアの大木が約二・五キロも続く並
木道を歩いてきました。遊歩道や駐車場、カ
フェなども整備されていて、気持ちの良い景
色をゆっくりと楽しむことができました。
この年齢になって、ふるさとの良さ再発見
です。

ボケお爺ちゃんと言わせない

長者町 山内 三雄

二月なのに、庭のボケに今年も蕾がたくさん付いて、ところどころ可憐な花が咲いています。孫たちが遊びにきた時に怪我をしないように、枝はほとんど剪定され、幹とほんのわずかな小枝のみですが、健気なものです。小枝一面に蕾が群がっています。このボケは、犬山に引越して来た時に、実家の一枝を植えたもので、もう四十年になります。私もその旺盛な生命力を見習いたいです。



週二回ほど、犬山市のウォーキングアプリに登録し、市内十か所のウォーキングコースを楽しくのんびりと散策し、足腰の貯筋に努めています。また、年二回あるスタンプラリーに挑戦し、いろいろな景品をいただき大変恐縮しております。

健康づくり推進員による健康体操他三つも参加し、疲れた時は適当に手を抜いています。そこのお父さん、手足が止まっていますよ、とすぐにばれますが、マイペースで楽しく体を動かしています。

月二回囲碁・将棋クラブに参加し、また月二回麻雀同好会にも参加しています。麻雀は

朝から夕方まで長時間のため、午後には坐骨ひりひり、頭ぼーつとしていているうちに、ツキに翼が生えてどこかに逃げてしまい、いつもハコテン寸前ですが、脳の活性化、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりと思い、我慢して励んでいます。ボケお爺ちゃんと言われないように、右に左に楽しく動き回っています。

余暇の過ごし方

羽黒 久保 雅克

昨年まで、約十二年間就業でお世話になりましたが、現在は何も行っておらず、毎日日曜日状態で時間は余るほどあり、尾張富士へのウォーキングなどを続けて余暇を過ごしています。

しかし、コロナ感染者の増加や猛暑日が続き、外出がままならなかったため、バラエティー豊かな景品付きの漢字パズル誌(五百円前後)にのめり込んでいる毎日です。文字を書く機会が増え、さらに推理を働かせる問題など、頭をフル回転させるので、認知症の予防になり、ひよつとしたら景品が当たる楽しみもあり(商品ゲットの実績あり)、時間が経つのを忘れて没頭してしまいます。



スーパーで「ありがとう・さようなら」

二年ほど前から妻の体調を考え、スーパーなどに買い物に行く機会が増え、親切な二人の女性レジの方と親しくなった。彼女たちは私たち夫婦のことを「お父さん、お母さん」と呼んでくれ、レジが暇な時には「お母さん元気、今日は寒いね」「私、今度旅行に行くの」など、わずか一言二言の会話も楽しみになっていた。



十二月の終わり頃、一人の方から「私は年内で仕事を辞める、もう一度お母さんに会いたい」との話があり、家内と二人で挨拶に行き、少し話した帰り際、「お母さんに」とお菓子をいただき、二人ともビックリ嬉しくも思った。家内の提案で後日お札にハンカチをお渡しし、大変喜んでいただいた。

年内最後の買い物物のレジを終えると「ハンカチ本当にありがとう、お母さんによるしく」との言葉。今日でもう会うことはないと思う複雑な気持ちもあったが「お互いに元気で」と自然に握手をしてお別れした。

お客とレジ担当の関係のみで連絡手段は一切なしの別れであったが、こんなに心に残るであろう「さようなら」は初めて経験した。

交通安全教室

三月十三日、恒例の犬山警察署交通課による交通安全教室が、会員二十一名の参加のもと実施されました。



事故防止のために、高齢ドライバーに多い交通事故のパターンと必ずやってほしい三つの行動(①出会い頭の事故防止 ②右折中の事故防止 ③左折中の事故防止)や、高齢歩行者を事故から守るためにドライバーが実践すべき三つの対策(①起こりうる危険を予測した『かもしれない運転』 ②高齢歩行者を見守る『やさしい視線』 ③夕暮れ・夜間・早朝の運転は特に注意)など、高齢者を交通事故から守る話がされました。



また日頃、疑問に思う交通规则などについて質疑応答がなされました。

「南海トラフ地震」に備えて

福和伸夫先生の講演を受講して

今年元旦に起きた能登半島地震により、常、あつて当たり前の電気・水道などインフラ設備が機能せず、長い間多くの人々の生活に影響が出ました。道路の隆起、地滑り、津波の影響で消防車も救急車も被災地に近づけず、港も空港も機能せず、悪いことが重なり壊滅状態となっていました。

いつ起きてもおかしくない、太平洋側での「南海トラフ地震」の場合はどうか。影響する規模は能登半島地震の百倍以上。東京・名古屋・大阪の大都市の機能は大混乱に陥り、最悪日本経済は大打撃で復興の見通しが立たなくなると予想されています。日本人口の半分近い六千万人に影響が及びます。都会の古い高層ビル内でのパニック、密集地の家屋倒壊、火災、港湾の石油基地の破壊、大規模火災も起こるでしょう。



大多数が被災してしまい助けを求めらう側の人はいないでしょうか。自助対策の第一は、住宅の倒壊を防ぐ耐震化しかありません。二〇〇〇年以前の家屋は

耐震基準を満たさず倒壊の恐れがあるので対応が必要です。倒壊しない家屋があれば復旧も早まります(輪島市、珠洲市では、全国の地方でも問題になっている人口過疎化、高齢化が進み耐震化が進んでいなかったため家屋倒壊、圧死も多かった)。行政側も耐震化に積極的に動いてほしいものです(家屋は私有物であり、行政が改修に口出しするのは難しく、いずれの市町村でも対応にこまねいているのが現状であるが)。

寺田虎彦氏の言葉「天災は忘れたところにやってくる」東海地方は、一九五九年の伊勢湾台風以後大きな災害に被災していませんが、一九四四年東南海地震(三重県沖)、一九四五年三河地震、一九四六年南海地震(和歌山県沖)と連続して地震が起きたように、同じよういつ起きるか分かりません。減災のためにも早い対策が必要です。

福和先生は強い口調で何度も家屋の耐震化、家具類の転倒防止により人の命を守ることの重要性を語られました。早い行動の必要性を強く感じました。(奥村 正明)

能登半島義援金

会員の皆様からの義援金二二、五〇〇円となりました。ご協力ありがとうございました。中日新聞の能登半島地震災害義援金に送金しました。

城下町サロン 知恵袋講座

シルバー城下町プラザで行っている『城下町サロン』では皆様いろいろなお話をしています。そこで、サロンこぼれ話を少し紹介します。

『助六寿司』

歌舞伎の演目『助六所録江戸桜』（助六ゆかりの江戸桜）の通称で、主人公の『助六』に由来する。助六の愛人は吉原の花魁で、その名を『揚巻』（あげまき）という。『揚巻』の『揚』を油揚げの『いなり寿司』、『巻』を海苔で巻いた『巻き寿司』になぞらえて、この二つを詰め合わせたものを『助六寿司』と呼ぶようになった。

『いなり寿司』

五穀豊穡の神様『稻荷神』のお使い、キツネの好物の油揚げを使った



寿司。関東は俵型・味は酢飯、関西は三角形・味は五目飯。作り方は関ヶ原を境目に分かれていますと言われています。

時事のしぼり

かつて犬山市シルバー人材センターで、犬山城のコロナ感染対策の仕事をやらせてもらいました。内容は入場門前で観光客に検温と手の消毒をお願いするものでした。この時、黒門跡から岩坂門跡までの急な坂に



は、息切れがしたものです。昔の武士はこの坂道を甲冑姿で昇り降りしたことを考えるとただただ驚きです。今でも、子供や女性は比較的元気です。これはどうしたことでしょう。坂を急斜にしたのは言うに及ばず敵の侵入を防ぐ対策であり、当時築城、縄張りには地形を最大限に利用されたものでした。

人事異動

当センターの事務局長・武藤裕一朗と臨時職員・加藤稔が令和六年三月三十一日付で退職し、同年四月一日付で山口正巳が事務局長に（挨拶①面）、田中豊明が事務局次長に、小澤之成が臨時職員に就任しました。前任者同様ご指導とご協力をよろしくお願ひします。

退職者挨拶

前事務局長 武藤裕一朗



二年間の短い間でしたが、事務局長として大変お世話になりました。ありがとうございました。

ポストコロナで「さあこれから」というところ、道半ばでの退任となってしまい、会員や職員の皆さんへの申し訳なさと心残り複雑な心境ではありますが、幸いにも後任の山口新事務局長は当センターの生き字引です。新たな体制でのセンターの益々のご発展と、

皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。

新任者挨拶



新事務局長 田中 豊明

慣れない業務で皆さんに迷惑をかけるかもしれませんが、できるだけ早く仕事を覚え、お荷物にならないよう頑張りたいと思いますので、少しでも暖かい目で見守っていただけると幸いです。皆さんが楽しく働けるような職場づくりを目指したいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

新入会員紹介

令和六年一月、三月入会者

- 安江よね子（上野） 久保 鉄男（富岡）
- 金子 重人（善師野） 和氣 由泰（犬山）
- 奥村 寿（富岡） 白井 里美（羽黒）
- 上田 旭（羽黒） 山平 孝（橋爪）
- 柳原 敏晴（前原） 山本 久子（犬山）
- 長谷川維久子（羽黒） 伊藤 律夫（楽田）
- 伊藤 逸子（楽田） 小野塚信也（上野）

編集後記

新年度が始まりました。正月に起きた能登半島地震被災者の復興努力に頭が下がります。免れた私たちも「天災は忘れたころにやってくる」を肝に銘じ行動したいものです。

(〇)

地域懇談会

コロナ禍の影響もあって約十年ぶりとなる地域懇談会が、二月二十七日、犬山市高齢者活動センターで開催されました。会員間の情報を交換しながら、横のつながりを強め、魅力あるセンターづくりや業務改善、会員数の増加につなげていくことを目的として、総務委員会の主導で企画されたものです。

今回は丸山・内田地区（11・12班）の会員が対象。「懇談会」という名称が堅苦しく感じられたのか、残念ながら参加者は少数となりましたが、それぞれ自分が携わる業務の課題

（安全の問題）、業務の範囲（家事手伝いの場合）、仕事のやりがい（コツコツまじめに取り組むことで仕事のリピートがある）、趣味の展開（老人会とのつながり）等が話題となり、なごやかに話が弾みました。事務局からはセンターの実情、独自事業のトマト栽培・販売のこと、会員専用サイト（Smile to smile）の取り組み、シルバー城下町プラザ事業のこと等が説



明され、改めてその内容を再認識される場面もありました。

次回には、出席者が増え、さらに活発に、ぎつくばらんに意見交換できる会になっていくことを期待します。

「かりんの会」研修

十一月二十四日、福祉・家事援助サービス職群班『かりんの会』は、親睦を兼ねた研修を行いました。秋深まる風の中で「健康長寿」「生きがい」「豊かな心」そんな気持ちになる研修となりました。

福昌寺にて、透き通る声の御詠歌、和尚様による法話、地元の歴史などの話を聞かせていただきました。

そして、もみじ寺寂光院の散策では、参加された皆様と楽しい時間を過ごすことができました。

春のいちご狩り



三月十一日快晴、シルバー旅行会三十六名は、一路渥美半島に向けて出発しました。外



部からも五名が参加され、車中は大盛り上がり。またセンター会長も参加され一段と楽しくなりました。

えびせんべいとちくわの共和国で休憩五社稲荷社に参拝して、長

寿健康を願って神社前で集合写真に納まりました。昼食を済ませ、いよいよいちご狩り。マルカ農園で紅ほっぺの食べ放題、真っ赤に熟れたいちごを皆さんいっぱい食べました。一番多く食べた人は五十個以上も食べたとかいちごのお土産でバスのトランクがいっぱいになっていました。

車中、二時四十六分、全員で東日本大震災の犠牲者に黙祷し、十三年前を思い出しました。帰路はカラオケで賑やかにこの旅を締めました。事故なく安全に終えることができました。ご協力に役員全員お礼申し上げます。

次回、秋のシルバー旅行は一泊二日、草津温泉の旅と参加者皆さんで決めました。大勢の方の参加をお待ちしています。（丹羽 忍）

